

【議 題 3】 報告事項

【分析】

年齢階級別／疾病大分類別 一人当たり医療費について
(令和5年度)



協会けんぽ福島支部
公式キャラクター **ケンタくん**

【分析の背景・目的】

福島支部の一人当たり医療費は全国平均を下回っている（図 1）ものの、疾病分類別では全国平均を上回る疾病がある（図 2）ことから、協会けんぽHPで公開している「医療費基本情報」「加入者基本情報」を用いて、年齢階級別／疾病大分類別に全国平均との差を確認することとした。

※令和 6 年第 2 回評議会資料から抜粋

図 1 ●診療種別別一人当たり医療費 全国平均との差について（令和 5 年度・年齢調整後）

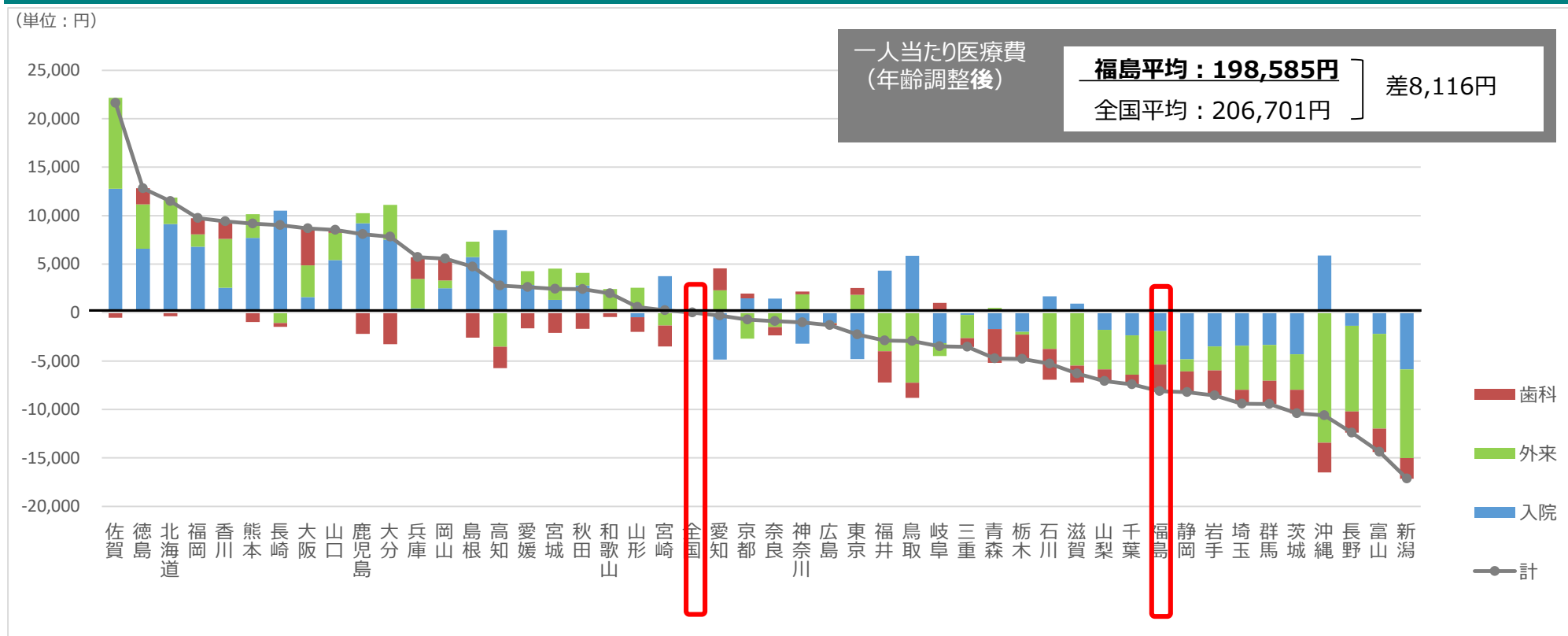
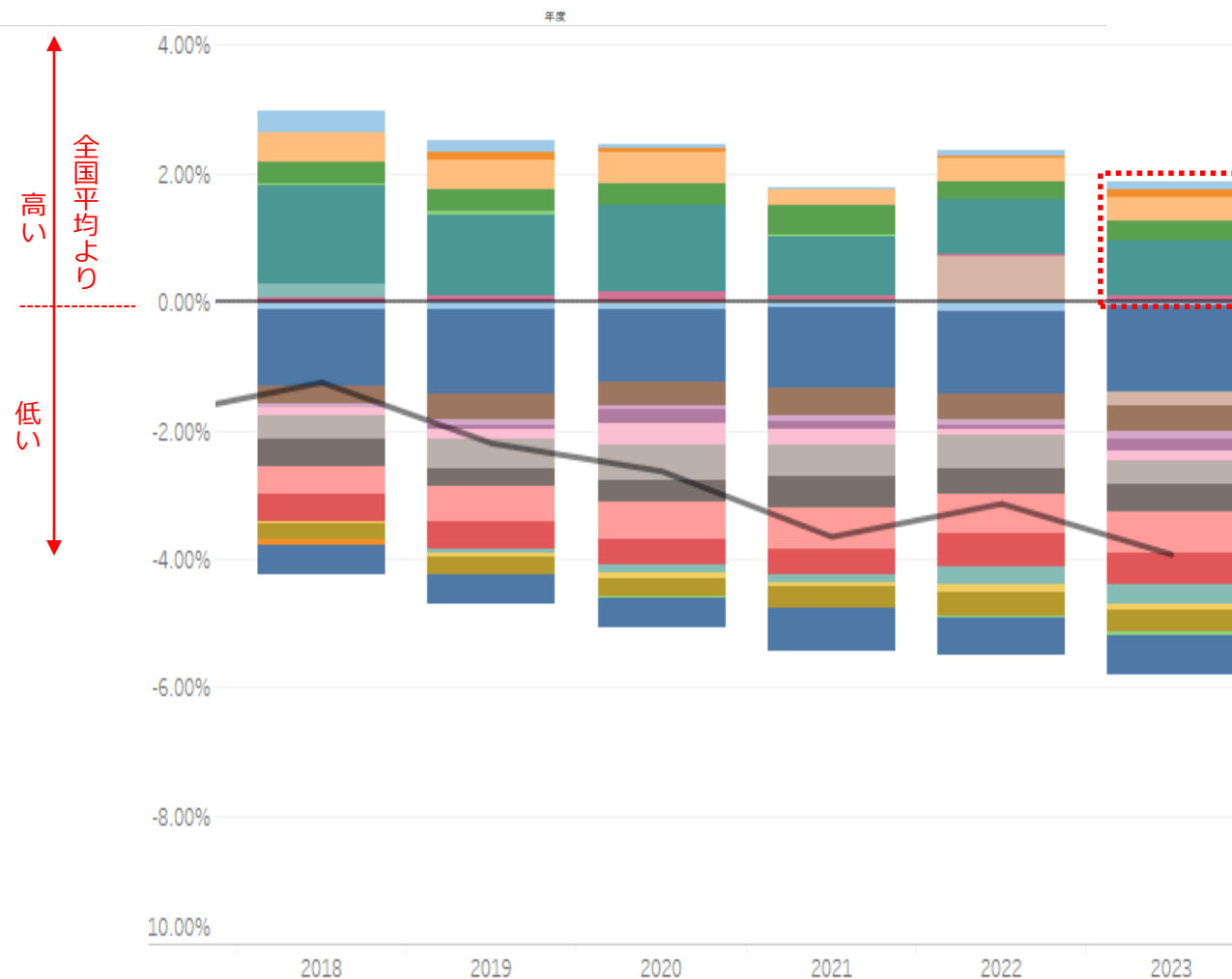


図2 ● 疾病分類別一人当たり医療費 全国平均との差について（令和5年度・年齢調整後）



疾病大分類

01感染症及び寄生虫症	
02新生物	
03血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	
04内分泌、栄養及び代謝疾患	
05精神及び行動の障害	
06神経系の疾患	
07眼及び付属器の疾患	
08耳及び乳様突起の疾患	
09循環器系の疾患	0.84%
10呼吸器系の疾患	
11消化器系の疾患	
12皮膚及び皮下組織の疾患	
13筋骨格系及び結合組織の疾患	
14泌尿路生殖器系の疾患	
15妊娠、分娩及び産後	0.10%
16周産期に発生した病態	
17先天奇形、変形及び染色体異常	
18症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	
19損傷、中毒及びその他の外因の影響	
22特殊目的用コード	
30歯科	
99不明	

全国平均を上回る疾病

乖離率寄与度

0.12%
0.14%
0.36%
0.32%

（ご留意） 疾病の分類について

複数の傷病が記載されているレセプトについては、レセプトの主傷病であることを表すフラグがある場合はそれらの傷病から、ない場合は記載されている全ての傷病からレセプトに記載されている順番が最も早い（先頭に記載されている）傷病を参照して番号を付与しています。

● 疾病別 年齢階級別一人当たり医療費 全国平均との乖離率（令和５年度・年齢調整後）

疾病大分類	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	疾病計
9：循環器系の疾患	-0.01%	-0.03%	0.02%	0.07%	0.28%	0.38%	0.09%	0.04%	0.84%
4：内分泌、栄養及び代謝疾患	-0.04%	0.07%	-0.04%	-0.04%	0.22%	0.12%	0.09%	-0.03%	0.36%
5：精神及び行動の障害	0.02%	0.11%	0.07%	0.08%	0.05%	-0.01%	-0.01%	0.00%	0.32%
3：血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.00%	-0.05%	0.18%	-0.05%	0.13%	-0.04%	-0.02%	-0.01%	0.14%
2：新生物＜腫瘍＞	0.00%	0.11%	-0.06%	0.08%	0.03%	0.04%	-0.18%	0.11%	0.12%
15：妊娠、分娩及び産じょく	0.00%	0.00%	0.09%	0.02%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.10%
6：神経系の疾患	-0.01%	0.00%	0.08%	-0.02%	0.05%	-0.10%	-0.02%	-0.03%	-0.05%
8：耳及び乳様突起の疾患	-0.01%	-0.01%	0.00%	-0.01%	-0.01%	-0.02%	-0.02%	-0.01%	-0.09%
18：症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	-0.04%	-0.02%	0.00%	-0.01%	0.00%	-0.03%	-0.02%	-0.01%	-0.11%
16：周産期に発生した病態	-0.15%	-0.01%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	-0.17%
17：先天奇形、変形及び染色体異常	-0.16%	-0.05%	-0.01%	0.01%	-0.01%	0.02%	0.00%	0.00%	-0.19%
22：特殊目的用コード	-0.03%	-0.02%	-0.01%	-0.02%	-0.03%	-0.05%	-0.05%	-0.02%	-0.23%
10：呼吸器系の疾患	0.41%	0.07%	-0.04%	-0.09%	-0.21%	-0.23%	-0.16%	-0.08%	-0.32%
7：眼及び付属器の疾患	-0.04%	-0.01%	0.00%	-0.01%	-0.04%	-0.08%	-0.11%	-0.04%	-0.34%
14：腎尿路生殖器系の疾患	0.00%	0.00%	-0.02%	-0.05%	-0.02%	-0.06%	-0.11%	-0.11%	-0.36%
19：損傷、中毒及びその他の外因の影響	-0.04%	-0.05%	-0.02%	-0.01%	-0.05%	-0.09%	-0.08%	-0.05%	-0.39%
13：筋骨格系及び結合組織の疾患	0.00%	-0.02%	0.01%	0.02%	0.07%	-0.12%	-0.20%	-0.17%	-0.42%
11：消化器系の疾患	-0.04%	0.04%	0.03%	-0.01%	-0.14%	-0.13%	-0.16%	-0.07%	-0.47%
1：感染症及び寄生虫症	-0.06%	-0.02%	-0.03%	-0.07%	-0.10%	-0.14%	-0.15%	-0.05%	-0.62%
12：皮膚及び皮下組織の疾患	-0.14%	-0.02%	-0.06%	-0.06%	-0.11%	-0.13%	-0.10%	-0.03%	-0.66%
不明（歯科および疾病コード不明）	-0.19%	-0.12%	-0.13%	-0.20%	-0.21%	-0.27%	-0.22%	-0.05%	-1.39%
年齢計	-0.51%	-0.04%	0.07%	-0.35%	-0.11%	-0.93%	-1.43%	-0.63%	-3.93%

・一人当たり医療費 全国平均からの乖離率の集計方法

（同一疾病における）支部一人当たりの医療費－全国平均の一人当たり医療費 ÷（全疾病における）全国平均の一人当たり医療費 3

【概要】

- 生活習慣病に係る疾患を見ると、40代、50代で乖離が最も大きくなっている。
特に「循環器系の疾患」では20代から全国平均を上回っている。
「内分泌、栄養及び代謝疾患」では、10-19歳も全国平均を上回っている。
- 「精神及び行動の障害」にかかる一人当たり医療費は、0～49歳の幅広い年齢階級で全国平均を上回っている。
- 0～9歳の一人当たり医療費は「呼吸器系の疾患」が全国平均との乖離が大きい。

【まとめ】

- 生活習慣病に係る疾患については、少年期・青年期から適切な生活習慣を身に着けることが重要であることを再確認した。
- 「呼吸器系の疾患」については、他疾病と比較して、風邪など緊急性が低い疾病が多いことから、診療時間外（時間外加算や休日加算）の受診状況も医療費分析を進め、時間外受診が多い場合には、医療費適正化（上手な医療のかかり方）の広報強化について検討を行う。

引き続き経年的、二次医療圏別の比較など様々な切り口で医療費分析を行い、今後の事業に活かしてまいりたい。

大分類	疾病分類コード	中分類名
1：感染症及び寄生虫	0101	腸管感染症
	0102	結核
	0103	主として性的伝播様式をとる感染症
	0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患
	0105	ウイルス性肝炎
	0106	その他のウイルス性疾患
	0107	真菌症
	0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症
	0109	その他の感染症及び寄生虫症
2：新生物＜腫瘍＞	0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞
	0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞
	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞
	0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞
	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞
	0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞
	0207	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞
	0208	悪性リンパ腫
	0209	白血病
	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞
	0211	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞
3：血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0301	貧血
	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
4：内分泌、栄養及び代謝疾患	0401	甲状腺障害
	0402	糖尿病
	0403	脂質異常症
	0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患
5：精神及び行動の障害	0501	血管性及び詳細不明の認知症
	0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害
	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
	0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）
	0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
	0506	知的障害＜精神遅滞＞
	0507	その他の精神及び行動の障害
6：神経系の疾患	0601	パーキンソン病
	0602	アルツハイマー病
	0603	てんかん
	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群
	0605	自律神経系の障害
	0606	その他の神経系の疾患
7：眼及び付属器の疾患	0701	結膜炎
	0702	白内障
	0703	屈折及び調節の障害
	0704	その他の眼及び付属器の疾患

大分類	疾病分類コード	中分類名
8：耳及び乳様突起の疾患	0801	外耳炎
	0802	その他の外耳疾患
	0803	中耳炎
	0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患
	0805	メニエール病
	0806	その他の内耳疾患
	0807	その他の耳疾患
9：循環器系の疾患	0901	高血圧性疾患
	0902	虚血性心疾患
	0903	その他の心疾患
	0904	くも膜下出血
	0905	脳内出血
	0906	脳梗塞
	0907	脳動脈硬化（症）
	0908	その他の脳血管疾患
	0909	動脈硬化（症）
	0911	低血圧（症）
	0912	その他の循環器系の疾患
10：呼吸器系の疾患	1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]＜感冒＞
	1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎
	1003	その他の急性上気道感染症
	1004	肺炎
	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎
	1006	アレルギー性鼻炎
	1007	慢性副鼻腔炎
	1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎
	1009	慢性閉塞性肺疾患
	1010	喘息
	1011	その他の呼吸器系の疾患
11：消化器系の疾患	1101	う蝕
	1102	歯肉炎及び歯周疾患
	1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害
	1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍
	1105	胃炎及び十二指腸炎
	1106	痔核
	1107	アルコール性肝疾患
	1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）
	1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）
	1110	その他の肝疾患
	1111	胆石症及び胆のう炎
	1112	脾疾患
	1113	その他の消化器系の疾患

大分類	疾病分類コード	中分類名
12：皮膚及び皮下組織の疾患	1201	皮膚及び皮下組織の感染症
	1202	皮膚炎及び湿疹
	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患
	1301	炎症性多発性関節障害
13：筋骨格系及び結合組織の疾患	1302	関節症
	1303	脊椎障害（脊椎症を含む）
	1304	椎間板障害
	1305	頸胸症候群
	1306	腰痛症及び坐骨神経痛
	1307	その他の脊椎障害
	1308	肩の傷害＜損傷＞
	1309	骨の密度及び構造の傷害
	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
	1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患
14：腎尿路生殖器系の疾患	1402	腎不全
	1403	尿路結石症
	1404	その他の腎尿路系の疾患
	1405	前立腺肥大（症）
	1406	その他の男性生殖器の疾患
	1407	月経障害及び閉経周辺期障害
	1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患
15：妊娠、分娩及び産じょく	1501	流産
	1502	妊婦高血圧症候群
	1503	単胎自然分娩
	1504	その他の妊娠、分娩及び産じょく
16：周産期に発生した病態	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害
	1602	その他の周産期に発生した病態
17：先天奇形、変形及び染色体異常	1701	心臓の先天奇形
	1702	その他の先天奇形、変形及び染色体異常
18：症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
	1901	骨折
	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷
	1903	熱傷及び病食
	1904	中毒
19：損傷、中毒及びその他の外因の影響	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響
	2210	重症急性呼吸器症候群[S A R S]
22：特殊目的用コード	2220	その他の特殊目的用コード